

第 39 回 ふれあい広場 反省会 次第

R8.10.6 18:30
ふれあいセンター 集会室

【目的】地域に暮らす誰もがふれあいを通して、ともに生きる思いやりと心豊かなまちをつくる

【標語】「であい・ふれあい・ともにいきるまち」

開会

ふれあい広場 テーマソング「窓を開けよう」

1. 挨拶 実行委員長
2. 実行委員・ボランティアアンケート結果の報告
3. 来場者アンケート結果の報告
4. 会計報告 / 監査報告
5. 動画視聴
6. 次回（令和9年度）広場に向けて～今後の予定～

企画段階から関わっていただける方、
ぜひご参加ください!

●企画運営委員会

日時：令和 9年 2月16日（火） 午前10：00から

場所：ふれあいセンター食堂

●次回実行委員長（予定）

演歌体操はなみずき・おり姫倶楽部・おれんじネットフレンズ

7. その他 連絡事項等

閉会 ～～～ 懇親会 ～～～

ふれあい広場 テーマソング

窓を開けよう

作詞：小原浩

作曲：ふれあい広場実行委員会

1. ぼくの^{へや}部屋から^み見えるのは ^{まっか}真っ赤に^も燃える^{たいよう}太陽だ。
さあ^わ輪^{つく}を作ろうよ ^{たいよう}あの太陽のように
みんな^{もえ}燃えようよ ^{たいよう}あの太陽のように
2. ぼくの^{へや}部屋から^み見えるのは ^うぽっかり^{しろ}浮かんだ^{くも}白い雲
さあ^の乗^いって行こうよ ^{ゆめ}あの夢の^{せかい}世界へ
みんな^の乗^いって行こう ^{ゆめ}あの夢の^{せかい}世界へ
3. ぼくの^{へや}部屋から^み見えるのは ^{あか}明るく^{ひか}光る^{ほし}星たちだ
さあ^て手をつなごうよ ^{ほし}あの星たちのように
みんな^{ひか}光ろうよ ^{ほし}あの星たちのように

この歌は脳性麻痺により車いす生活を送る、駒ヶ根市の小原浩さんが外に出て自由に遊びたい気持ちを、部屋の窓から願いこめて作った詩です。1987 年(昭和 62 年)第3回ふれあい広場実行委員会によって、シンボルマークと共に作られ、歌い継がれています♪

第 39 回 (R8 年度) ふれあい広場 実行委員・ボランティアアンケート結果【要約版】

1 係・ボランティアとしての感想

① 参加・交流について

- ・(中高生ボランティア) 普段関わらない高齢者、障害を持つ方、子ども、異なる学校の人などと交流でき、大変良い経験になった。
- ・手話を教えてもらったり、一緒に楽しんだり、人とのつながりや思いやりの大切さを再確認する貴重な機会となった。
- ・多くの来場者で賑わい、ブース出店者・参加者・スタッフの双方が自発的・協力的に関わられて良かった。

② 運営・会場設営について

【屋内・屋外ブース】

- ・当日の会場変更に対して、出店者やボランティアが自発的に設営・片付けに協力し、スムーズに進行できた。
- ・建物の南側にコンパクトにブースをまとめたことで賑わいが出た。
- ・天候が心配されたので急遽屋内で出店させてもらえて良かったが狭かった。屋外ブースが減って寂しく感じた。
- ・一部の体験ブースで椅子が不足し、長時間の対応で立ちっぱなしになり負担がかかった事例があった。

【駐車場】

- ・トランシーバー (3 台) を活用したことで状況確認や誘導がスムーズに行えた

2 実行委員会会議の内容・運営について

【選択肢集計】(回答数: 32 件)

「よかった」: 23 件 (約 72%)

「ふつう」: 9 件 (約 28%)

「よくなかった」: 0 件

① 主な意見・感想

- ・回数が少なく(結成式と直前実行委員会の 2 回など)、短時間で簡潔だった。
- ・会議への参加負担が少なく助かった。
- ・実行委員長を当番制にし係長を事務局(社協)側が務めたことでスムーズに会議が進行し、自団体の活動に集中できた。
- ・HP で議事録が読めて良かった。要点がまとまっていて困らなかった。

② 運営面での課題・改善案

- ・18:30 からの開催は開始・終了が遅く、負担に感じた。

- ・より多くの方が気軽に参加できる会議にしていきたい。
- ・広く一般から企画運営に関わりたい人を募集しても良いのではないか。

3 今後の連絡方法について

【選択肢集計】（複数回答可 / 回答者数：33 件）

- LINE（公式 LINE 等）：18 件（最も多い）
- ホームページ（HP）：12 件
- メール：11 件
- 郵送：5 件
- 電話・その他（直接、はがき等）：3 件

4 当日についての感想・意見

【選択肢集計】（回答数：50 件）

- 「よかった」：45 件（90%）
- 「ふつう」：5 件（10%）
- 「よくなかった」：0 件

○主な意見・感想

【参加者・ボランティアの交流】

- ・会場全体が一体となって楽しめた、笑顔や笑い声が多く最高だった、地域の活力を感じた。
- ・中学生、高校生などのボランティアに対し、「笑顔ではきはき動き、積極的に声をかけてくれて頼もしかった」「小さな子や利用者に寄り添った接し方が印象的だった」との声が多数寄せられた。
- ・普段接する機会の少ない多世代・障がいのある方等とのコミュニケーションを通じ、お互いに思いやりや学びを得られる貴重な機会となった。

【強風対応と設営・人の流れ】

- ・当日は強風のため急きょ配置換えをしたことに対しては「事故が起きる前に入り口や室内に素早く移動して対応してくれて助かった」「お互い譲り合って設営できた」といった声があった。
- ・一方で、「急遽ブースが増えたことで玄関ホールが混雑し、通行しづらくなった」との意見もあった。

5 ふれあい広場全体について、来年度に向けての課題・提案など

① 開催時間について

- ※開催時間については「延長されて余裕ができて良かった」という意見と「少し長くて疲れた」という双方の意見あり。
- ・午後 2 時まで延長したことでゆっくり回れた。
- ・午後は来場者が激減し間延びした。午後は来場者が減少した。
- （従来どおりの）13 時、または 13 時 30 分終了くらいが良い。

→ 前半に物販を行い、後半は室内のステージに集中させるのはどうか。

② 屋内・屋外会場配置等について

<会場設営・配置>

- ・テント設営時は軍手を着用していたが、片付け時も軍手着用案内を徹底した方が良かった。
- ・奥に位置するシルバー人材センター会場への人の流れが少なかったため、「ガラポンや飲食ブースをシルバー側に配置する」など、人の流れを作る工夫が必要。
- ・強風による配置変更で室内にブースが入った際、通路（玄関ホール等）が混雑して移動しづらくなった。移動のスムーズ化や非常時の避難動線確保のため、通路をクリアに保ち、物品販売は屋外や指定エリアに限定するのはどうか。
- ・今回は急きょ配置変更をして無事に対応できたものの、事前に強風・雨天時の会場配置を策定しておくべき。

<食事関係>

- ・飲食ブース各店舗でのゴミ箱設置徹底と、ゴミの店舗返却の呼びかけが必要。
- ・お昼頃に食品・惣菜類が売り切れてしまうケースがあったため、販売量の調整や案内が必要。
- ・外で食事をする人向けに、机や椅子の設置があると良い。

<その他>

- ・開会式や閉会式の始まりが分かりにくかったため「館内放送での呼びかけ」があると良い。
- ・シールラリーの対象ブースが分かりにくかったため、「対象」と書いた貼紙等の案内があると良い。

③ 駐車場について

- ・一般来場者用だけでなく、実行委員・参加団体用の駐車場も明記した地図を事前に用意しておく良かった。
- ・送迎車両（中高生・参加施設団体）の駐車場所の検討が必要。
- ・西側入口への日よけ（パラソル・小型テント）設置の検討が必要。
- ・高齢の来場者から「近くに車が停められないと行きづらい」との声あり。高齢者・配慮が必要な方向けの駐車場枠や案内の工夫が必要。

④ 広報について

- ・チラシ・ポスターのデザイン依頼時期（6月上旬～下旬）を早めることで、よりスムーズに準備を進められる。
- ・チラシ・ポスター・うちわ等の広報物には電話番号だけでなく FAX 番号も記載してほしい。

⑤ その他

- ・中高生ボランティアによる多世代交流は、今後もぜひ継続してほしい。

第 39 回（令和 8 年度）ふれあい広場 来場者アンケート結果

1 回答数 11

2 年齢層 10 代以下から 70 代

3 ふれあい広場を知ったきっかけ

社協報・市報・新聞： 4 件

学校・勤務先： 2 件

参加団体： 1 件

知人： 1 件

チラシ・ポスター： 1 件

社協ホームページ・公式 LINE： 1 件

4 ふれあい広場の満足度

満足： 8 件（80%）

やや満足： 2 件（20%）

普通 / 不満等： 0 件

5 ふれあいうちわの満足度

満足： 6 件

どちらともいえない： 2 件

知らなかった： 1 件

6 ふれあい広場の良かったところ（自由記載）

- ・ 急な場所の移動があったが、協力して設営できたこと。
- ・ 普段、ふれ合う機会のないことに、触れ合えること。
- ・ 9 月のイベントの一環である、ふれあい広場は、迫力のあるイベントで良かったです。
- ・ 毎年ふれあい広場に来ると会える方がいて嬉しい。
- ・ こどもからご高齢の方まで、みんなが楽しい時間を過ごせていました。素敵な広場をありがとうございました。
- ・ 医療生協の健康チェックがよかった。

7 ふれあい広場の改善点があれば教えてください（自由記載）

- ・ 雨天案はやはり前もって考えた方がいい。
- ・ 次回のふれあい広場も、店舗ブースを増やして欲しいです。
- ・ ステージ発表、販売店、とても良かった 改善点というほどではないが、リサイクル品をしてほしいという方もいる。
- ・ 午後は関係者しかいなかったような…13 時頃終了でもよいのかなぁーと思いました。

以上です。ご協力ありがとうございました。

第39回ふれあい広場収支決算書

令和8年10月6日作成

(収入の部)

単位：円

科 目	本年度決算額	摘 要
繰 越 金	424,576	前年度より
預 金 利 息	913	
助 成 金 等	80,000	赤い羽根共同募金
会 議 費	28,500	R7年度反省慰労会参加者会費
寄 付	14,231	お気持ちBOX
合 計	548,220	

(支出の部)

科 目	本年度決算額	摘 要
事 務 費	14,000	行事保険
広 報 費	8,820	チラシ,ポスター 等
印 刷 費	31,890	プロッター、パンフレット、会議資料 等
通 信 費	6,916	郵便
消 耗 品 費	9,336	消毒薬、ペーパー類、テープ等消耗品、熱中症対策品
会 議 費	31,434	R7年度反省慰労会費
合 計	102,396	

収入総額 548,220

支出総額 102,396

残 額 445,824

以上の通り報告します。

令和 8 年 10 月 6 日

第39回ふれあい広場実行委員会

委員長 あの日のもも、伊南シルバー人材センター、伊南桜木園

監 査 報 告

令和8年10月6日 17:00よりふれあいセンターにおいて、上記会計を監査した結果、預金通帳、証拠書類等適切に処理され、誤りのないことを確認しましたので、ここに報告します。

令和 8 年 10 月 6 日

監事

加治木 今

